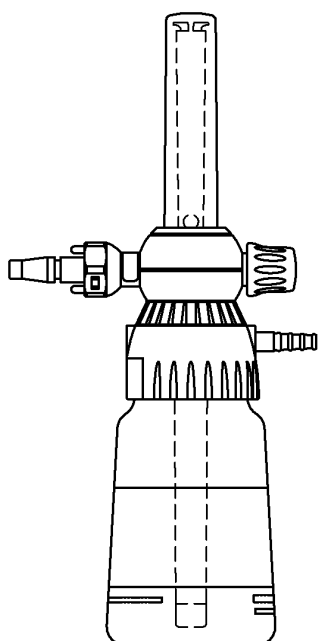

直結式酸素湿潤器 FS-500型

取扱説明書

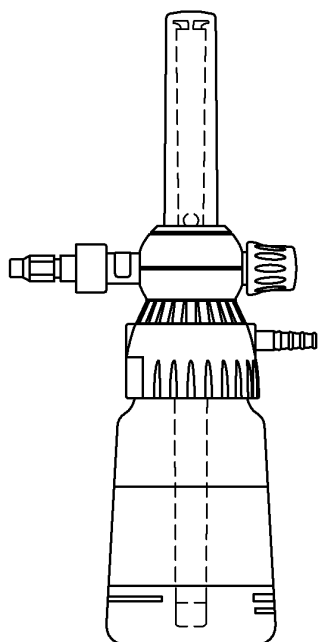
- 正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- 取扱説明書は必ず保存してください。なくされたときはご相談ください。



—— 目 次 ——

安全に正しくお使いいただくために

1. はじめに
2. 各部の名称
3. 現品の確認
4. 使用方法
5. 使用後の手入れ
6. 保守点検
7. 修理を依頼される前に
8. 仕様



安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。



●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 危険

使用中は絶対に火気類を近づけないでください。

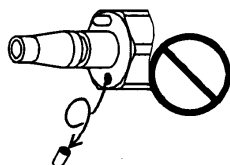


激しく燃え、火災の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために

警告

アダプタプラグの変形したもの、ピン方式アダプタプラグのピンが折れたものは絶対に使用しないでください。



他のガスのアウトレットにつながり、ガスの取り出し間違いの原因となります。

計測筒にひび割れあるいはキズが生じたものは絶対に使用しないでください。



発火の原因となります。

流量調整ノブは急激に開けないでください。



急激に開くと、発火の原因となります。

アウトレットより本器を取りはずすとき、本器に軽く手を添えておこなってください。



本器が飛び出すことがあり、けがの原因となります。

改造やご自身での修理は絶対にしないでください。



正常な機能や安全を保てなくなります。

安全に正しくお使いいただくために

 警告

使用中に本器を分解しないでください。



部品が飛び出し、けがの原因となります。

キャップ、継手部分等よりガス漏れがある場合、使用しないでください。



所定の酸素量が投与されず、重大な人身事故につながる場合があります。
また、火災の原因となります。

本器に外力を加えないでください。



破損や漏れを起す原因となります。

油分の付着した手で触らないでください。



火災の原因となります。

保守点検は必ず実施してください。



重大な人身事故につながる場合があります。

点検で異常が発見された機器は絶対に使用しないでください。



重大な人身事故につながる場合があります。

安全に正しくお使いいただくために

注意

アダプタプラグの先端にキズがついたものは使用しないでください。



アウトレットのパッキンにキズをつけ、ガス漏れの原因となります。

エタノールやクレゾールなどの消毒剤は使用しないでください。
・・・使用禁止消毒剤についての詳細は、5項をご参照ください。



プラスチック部品が劣化し、破損の原因となります。

使用後はボトル内の水を捨ててください。



水を入れたまま放置しておくこと、計測筒内に水が逆流することがあり、機能低下の原因となります。

使用後の手入れのとき、熱湯での洗浄および蒸気滅菌をしないでください。



プラスチック部品が変形することがあります。

ボトルにひび割れあるいはキズが生じたものは使用しないでください。



酸素や水が漏れる原因となります。

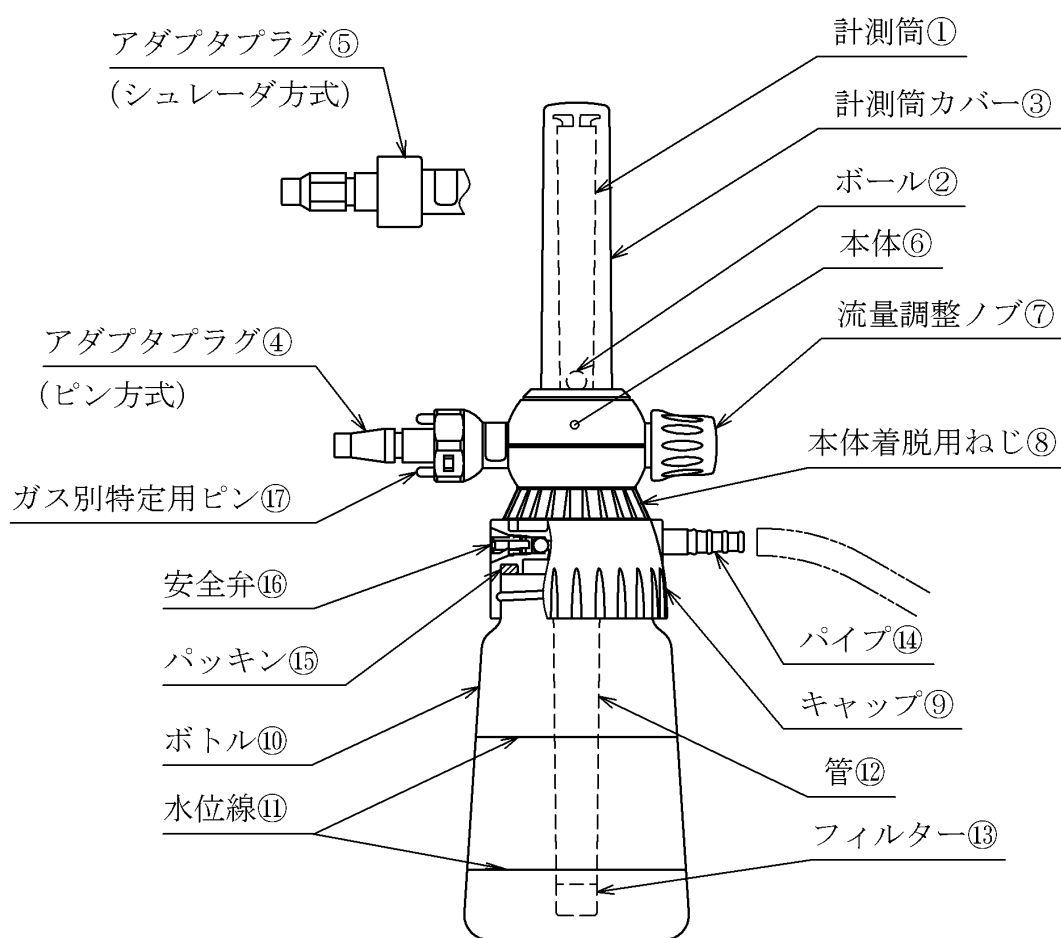
- ボトル内の水はいつも清潔にしておいてください。
- ご使用の前に、キャップの内側のパッキンがはずれていないか確認してください。
- 流量調整ノブは必要以上に強く締め込まないでください。
強く締め込むと部品が変形し、酸素の止まりが悪くなります。
- 使用しないとき
手入れ後、すぐに使用しないときは、十分に乾燥させたのち、所定の保管場所にて保管してください。
保管場所の条件：水のかからない場所であること。
温度、湿度等が著しく高くない場所であること。
振動等のない場所であること。
ゴミ、塵埃等が入らない場所であること。
- フィルターからの泡の出具合は製品毎に差があります。
- ボトル、管、キャップ組立の洗浄には、軟らかいスポンジを使用してください。
たわしやブラシのような硬いもので洗浄すると、ボトル、管、キャップ組立にキズがつきますので、使用しないでください。
- 使用環境における流量精度
本器は圧力1013hPa、温度23°Cで流量精度を合わせています。お客様でご使用時の周囲環境が使用温度範囲（0~40°C）を超えますと、保証できません。
- 流量精度
本器の流量精度は、次のとおりです。
1L/min以上5L/min以下の範囲：±0.5L/min
5L/minを超え15L/min以下の範囲：±1.0L/min

本器は低流量タイプではありませんので、1L/min未満での取り扱いについては保証できません。

1. はじめに

直結式酸素湿潤器 FS-500型は、酸素吸入を要する患者に加湿した酸素を供給するための呼吸補助器（酸素吸入器）です。
その他の用途には使わないでください。

2. 各部の名称



アダプタプラグはピン方式④とシュレーダ方式⑤があります。

図-1

3. 現品の確認

収納箱より取り出し、下記の項目について確認してください。
万一部品の欠品あるいは破損、不具合などがございましたら、お買い上げの代理店へご連絡ください。

3-1. 部品の欠品はないか（図-2参照）。

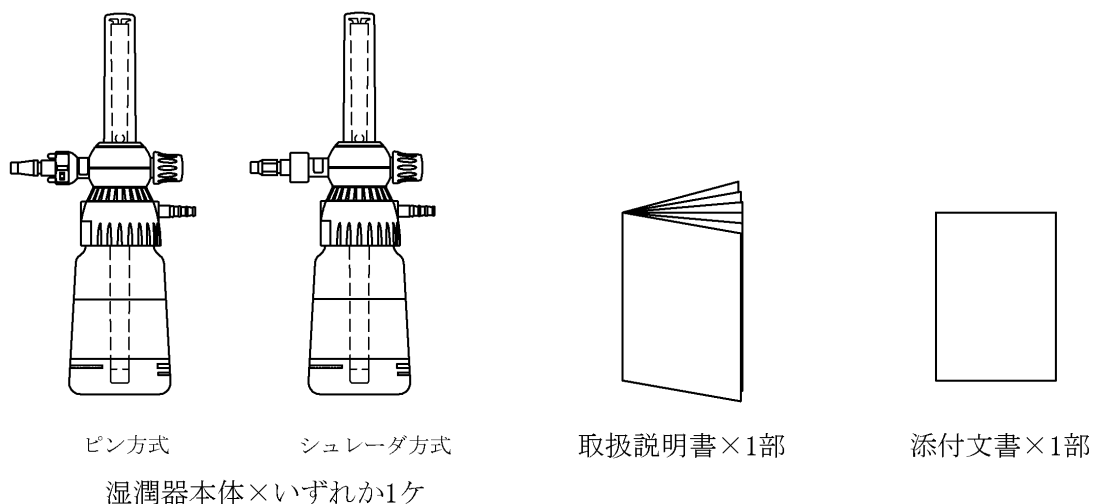


図-2

3-2. 部品に輸送による破損および不具合はないか。



- (1) 計測筒①、計測筒カバー③に割れおよび変形などの異常はないか。
- (2) 流量調整ノブ⑦に変形がなく、また、回すことができるか。
- (3) アダプタプラグ④のガス別特定用ピン⑱が折れたり、アダプタプラグ④又は⑤が変形したりしていないか。
- (4) ボトル⑩に割れおよび変形などの異常はないか。
- (5) その他の部品に割れおよび変形などの異常はないか。

4. 使用方法


4-1. 使用前の確認および準備

使用前には必ず、次のことを確認してからお使いください。

- (1) 滅菌または消毒済であることを確認してください。
なお、本器は清潔な状態で出荷していますが、滅菌または消毒などの処理はおこなっていませんので、必ず最初の使用のときにも滅菌または消毒をおこなってから使用してください。
- (2) アダプタプラグ④のガス別特定用ピン⑰が折れたり、アダプタプラグ④又は⑤が変形したりしていないか確認してください。

 警告
●アダプタプラグの変形したもの、ピン方式アダプタプラグのピンが折れたものは絶対に使用しないでください。 他のガスのアウトレットにつながり、ガスの取り出し間違いの原因となります。
 注意
●アダプタプラグの先端にキズがついたものは使用しないでください。 アウトレットのパッキンにキズをつけ、ガス漏れの原因となります。

- (3) 計測筒①にひび割れあるいはキズがないことを確認してください。

 警告
●計測筒にひび割れあるいはキズが生じたものは絶対に使用しないでください。 発火の原因となります。

- (4) 本体着脱用ねじ⑧を持ち、本体⑥を時計方向へ回し、確実に取り付いているか確認してください。
- (5) キャップ⑨を持ち、ボトル⑩を反時計方向へ回して取りはずしてください。
- (6) キャップ⑨の内側のパッキン⑮がはずれたり、亀裂が生じたりしていないか確認してください。
- (7) ボトル⑩の上側の水位線まで精製水（滅菌精製水のご使用を推奨します）を入れてください。

(注 意)

- 精製水（滅菌精製水）はボトル⑩の上側の水位線以上に入れしないでください。
パイプ⑭から精製水（滅菌精製水）が噴出する原因になります。

- (8) キャップ⑨を持ち、ボトル⑩を時計方向に回して確実に取り付けてください。
このときパッキン⑮には潤滑剤を塗布しないでください。

⚠ 注意

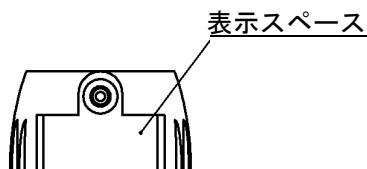
- ボトルにひび割れあるいはキズが生じたものは使用しないでください。
酸素や水が漏れる原因となります。

- (9) 流量調整ノブ⑦を「とじる」の方向（時計方向）へ止まるまで回してください。

(注 意)

- 流量調整ノブは必要以上に強く締め込まないでください。
強く締め込むと部品が変形し、酸素の止まりが悪くなります。

- (10) キャップ⑨の右図に示す位置にラベルを貼る、文字を書くなど、ご自由に表示を行ってください。

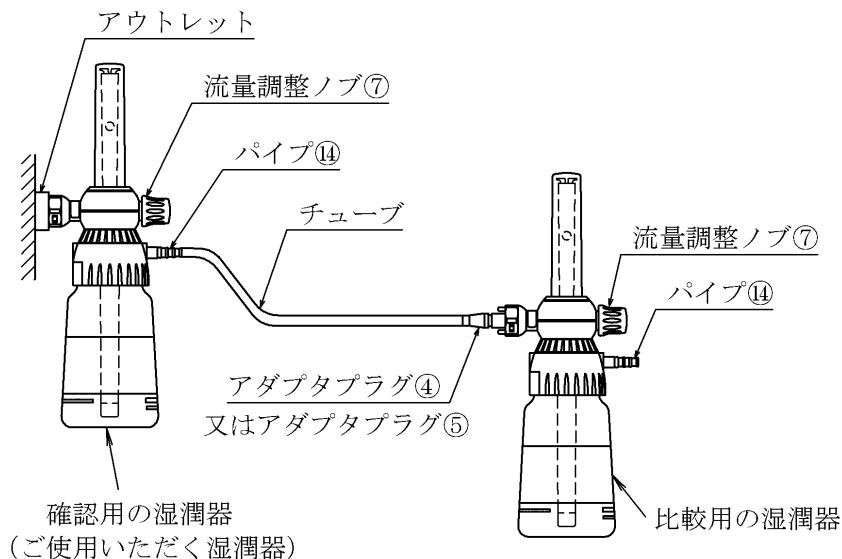


- (11) 本体⑥を持って、アダプタプラグ④又は⑤を配管設備の酸素用アウトレットに“カチッ”と音がするまで確実に差し込んでください。
- (12) 湿潤器にガス漏れがないか確認してください。

⚠ 警告

- キャップ、継手部分等よりガス漏れがある場合、使用しないでください。
所定の酸素量が投与されず、重大な人身事故につながる場合があります。
また、火災の原因となります。

【確認方法 1】



漏れの有無確認方法 1

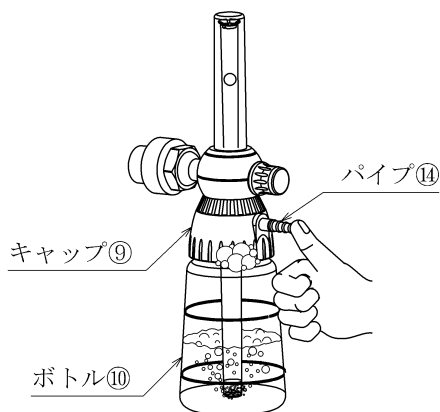
- (i) 確認用の湿潤器（ご使用いただく湿潤器）以外に比較用の同型器をご用意ください。
- (ii) 比較用の湿潤器の流量調整ノブ⑦を「ひらく」の方向（反時計方向）に止まるまで回し、全開状態にしてください。
- (iii) 確認用の湿潤器のパイプ⑭にチューブを接続し、流量を10L/minに調整してください。
- (iv) 確認用の湿潤器に接続したチューブの另一端を比較用の湿潤器のアダプタに接続してください。
- (v) 比較用の湿潤器で流量を読み、9～10L/minを示していれば、確認用の湿潤器にガス漏れはなく、正常です。
流量がそれよりも低い場合は、確認用の湿潤器からガスが漏れています。その場合は次のことが考えられますので、確認ならびに処置したうえで、再度漏れの確認をしてください。

確認事項	処置事項
キャップ⑨とボトル⑩が確実に取り付けられているか確認してください。	緩みがある場合は、ボトル⑩を時計方向に回して、締め直してください。

上記処置後の漏れ確認でも漏れている場合は、湿潤器の異常が考えられますので、弊社またはお買い上げの代理店へ修理をお申しつけください。

- (vi) 漏れの確認が終わりましたら、流量調整ノブ⑦を「とじる」の方向（時計方向）へ止まるまで回して、比較用の湿潤器およびチューブを取り外してください。

【確認方法2】



漏れの有無確認方法2

- (i) 石けん水と石けん水を塗るためのはけをご用意ください。
- (ii) 流量調整ノブ⑦を「ひらく」の方向（反時計方向）に回し、3～5L/min程度の流量を流してください。
- (iii) キャップ⑨とボトル⑩のねじ込み部に石けん水を塗布し、指でパイプ⑭を塞いだときに気泡が出ていると漏れています。

(注意)

- ・この方法による確認は、数秒程度で確認できますので、それ以上の長い時間の閉塞はお止めください。

- (iv) 漏れの確認が終わりましたら、流量調整ノブ⑦を「とじる」の方向（時計方向）へ止まるまで回してください。
石けん水をよく拭きとってからご使用ください。

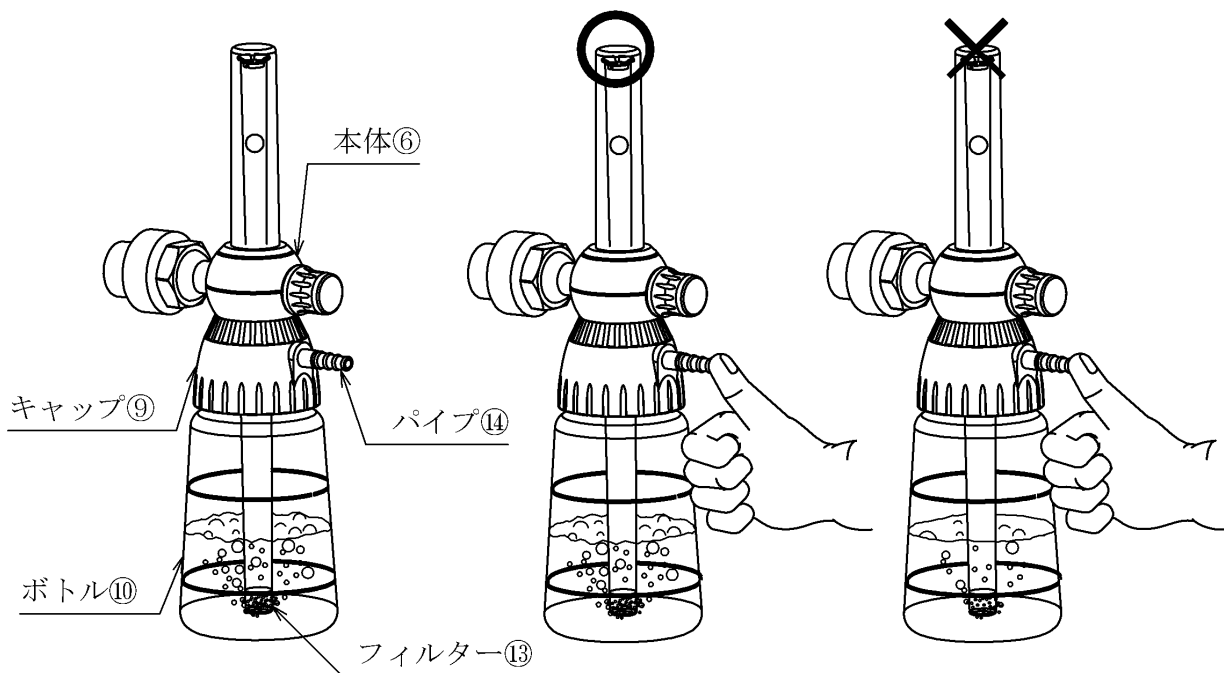
【簡便法】

前述の確認方法が正確に漏れの確認をおこなえますが、比較用の湿潤器が手元にない場合の簡便法として、次の方法があります。
ただし、この簡便法では本体⑥の周辺部の漏れの有無は確認できますが、キャップ⑨とボトル⑩の取り付け部からの漏れの有無は確認できないため、ボトル⑩が確実に取り付けられていることを確認したうえで、おこなってください。

- (i) 流量調整ノブ⑦を「ひらく」の方向（反時計方向）に回し、3～5L/min程度の流量を流してください。
- (ii) そのときのフィルター⑬からの泡の出具合とパイプ⑭の出口を指で塞いだときの泡の出具合の状況変化を確認してください。

(注意)

- ・パイプ⑭の出口を指で塞ぐと、供給圧力を閉塞することになり、指には圧力が加わりますので、しっかりと閉塞してください。
- ・この方法による確認は、数秒程度で確認できますので、それ以上の長い時間の閉塞はお止めください。



指で塞ぐ前の泡の出具合を確認

指で塞いだときと塞ぐ前で泡の出具合に変化なければガス漏れなし

指で塞いだときと塞ぐ前で泡の出具合が極端に少なくなればガスが漏れている

簡便法による漏れ確認

- (iii) 漏れの確認が終わりましたら、流量調整ノブ⑦を「とじる」の方向（時計方向）へ止まるまで回してください。


4-2. 使用方法

- (1) 流量調整ノブ⑦を「ひらく」の方向（反時計方向）へ回し、ボール②がスムーズに上下し、フラツキがないことおよび気泡が発生していることを確認してください。その後、所要の流量に調整してください。
 流量の確認は、ボール②の中央で目盛を読んでください。
 最大流量付近でご使用の場合、ボトル⑩の中に入っている精製水（滅菌精製水）が酸素と共にパイプ⑭から噴出してることがありますので、ご注意ください。

 **警告**

- 流量調整ノブは急激に開けないでください。
急激に開くと、発火の原因となります。

- (2) 流量調整が終わりましたら、お客様でご使用のチューブをパイプ⑭に差し込んでください。
 この時、チューブの抵抗によって、流量調整時に比べ見かけ上、ボール②は下がりますが、実際の流量は調整した時のままです。再調整はしないでください。

 **危険**

- 使用中は絶対に火気類を近づけないでください。
酸素ガスは支燃性です。火気類を近づけると激しく燃え、火災の原因となります。

 **警告**

- 使用中に本器を分解しないでください。
部品が飛び出し、けがの原因となります。
- 本器に外力を加えないでください。
破損や漏れを起す原因となります。

 **注意**

- 接続するチューブの口径が、パイプの口径に適合していることを確認してください。
無理に接続すると、ガス漏れを起こしたり、機器を損傷する場合があります。

- (3) 酸素供給を一時停止したいとき、あるいは短時間使用しないときには流量調整ノブ⑦を「とじる」の方向（時計方向）へ止まるまで回してください。
 酸素を流したままの状態でもボトル⑩を緩めないでください。

(注 意)

- 流量調整ノブは必要以上に強く締め込まないでください。
強く締め込むと部品が変形し、酸素の止まりが悪くなります。

- (4) 使用後は速やかにアウトレットより本器を取りはずし、ボトル⑩内の水を捨てて、手入れ（※）をおこなってください。
※ 「5. 使用後の手入れ」を参照してください。

 **警告**

- アウトレットより本器を取りはずすとき、本器に軽く手を添えておこなってください。
本器が飛び出すことがあり、けがの原因となります。

 **注意**

- 使用後はボトル内の水を捨ててください。
水を入れたまま放置しておくと、計測筒内に水が逆流することがあり、機能低下の原因となります。

- (5) 手入れ後、すぐに使用しないときは、十分に乾燥させたのち、所定の保管場所にて保管してください。

《保管場所の条件》

- ◆ 水のかからない場所であること。
- ◆ 温度、湿度等が著しく高くない場所であること。
- ◆ 振動等のない場所であること。
- ◆ ゴミ、塵埃等が入らない場所であること。

(注 意)

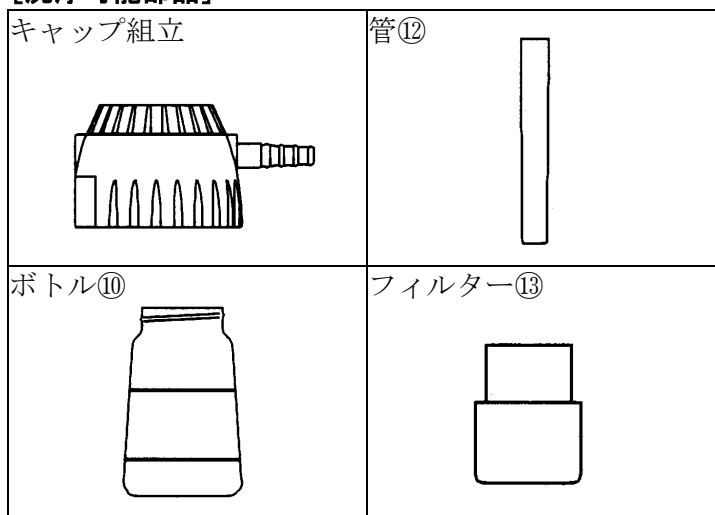
- 手入れ後、布などで十分に水分を取り除いてください。
精製水（滅菌精製水）、水道水の成分が析出し、流量不足が起こる原因となります。

5. 使用後の手入れ

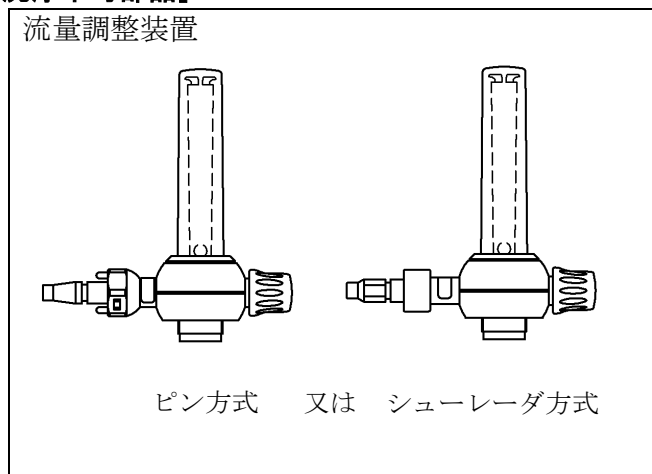
洗浄および消毒について

- 洗浄（水洗・湯洗）をおこなうと、機能低下を招く部分があります。下図を参照して洗浄を実施してください。

【洗浄可能部品】



【洗浄不可部品】




- 本器の洗浄および消毒のとき、処理温度に注意してください。
 - ・温湯で洗浄するとき：60℃以下
 - ・ガス滅菌で消毒するとき：60℃以下
 ガス滅菌後はボトル⑩に水をいれる前に、十分に酸素を流してください。

⚠ 注意

- 熱湯での洗浄および蒸気滅菌をしないでください。
プラスチック部品が変形することがあります。
- ガス滅菌や消毒後はボトルに水をいれる前に、十分に酸素を流してください。
残留している滅菌ガスや消毒液の残留ガスが患者に投与されます。

- キャップ組立、ボトル⑩、管⑫の洗浄には、軟らかいスポンジを使用してください。
たわしやブラシのような硬いもので洗浄すると、キャップ組立、ボトル⑩、管⑫にキズがつきますので、使用しないでください。
- フィルター⑬の洗浄は水や温湯、消毒液などに浸すあるいは流すだけにしてください。
たわしやブラシ、スポンジなどで洗浄すると目詰まりを起こすので、使用しないでください。
- キャップ組立、ボトル⑩、管⑫、フィルター⑬について汚れやキズのひどい場合は、新しい部品と交換してください。
- 管⑫とキャップ組立の接続部には、気密を保持するためにOリングを使用しています。管⑫を差し込むとき、滑りが悪くてもOリングに油脂類を塗付しないでください。
酸素は支燃性のため、火災の原因となります。
- 計測筒①、ボール②、計測筒カバー③、アダプタプラグ④又は⑤、本体⑥、流量調整ノブ⑦、本体着脱用ねじ⑧、キャップ⑨、パイプ⑭、パッキン⑮、安全弁⑯、ガス別特定用ピン⑰の組立品は分解しないでください。

 警 告
● 改造やご自身での修理は絶対にしないでください。 正常な機能や安全を保てなくなります。

- 消毒にあたっては下表を参照のうえ、使用薬品に注意してください。

【使用可能薬品】

一 般 名	商 品 名	使用濃度
グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン マスキン液	0.1~0.5%
グルタールアルデヒド	ステリハイド	2%
塩化ベンザルコニウム	オスバン ジアミトール	0.1%

【使用不可薬品】

一 般 名	商 品 名
両 性 界 面 活 性 剤	テゴ-51、アノン300
塩 化 ベ ン ゼ ト ニ ウ ム	ハイアミン、ハイアミンT
石 炭 酸	局方フェノール、クレゾール
エチルアルコール	エタノール
次亜塩素酸ナトリウム	ミルトン

- 消毒剤の使用にあたっては、各消毒剤のドラッグインフォメーション等に記載されている使用方法に従ってください。

- 表に書かれていない消毒剤を使用される場合には、弊社または弊社代理店、もしくは消毒剤メーカーにお問い合わせください。

⚠ 注意

- 使用不可薬品に挙げた消毒剤は使用しないでください。
プラスチック部品が劣化し、破損の原因となります。
- アルコール類での消毒および消毒剤のアルコールでの希釈はしないでください。
プラスチック部品が劣化し、破損の原因となります。

6. 保守点検

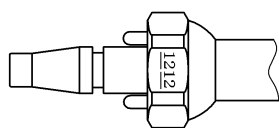
安全および性能維持のために保守点検は、下記の項目について実施してください。万一故障が発見されたときあるいはご不明の点やご質問がございましたら、弊社またはお買い上げの代理店へご連絡ください。なお、点検要領は平成5年10月5日 厚生省健政発第650号「医療の用に供するガス設備の保安管理について」の定めに基づいて準拠しています。

⚠ 警告

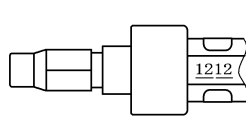
- 保守点検は必ず実施してください。
重大な人身事故につながる場合があります。

- 耐用年数は5年間です。
アダプタプラグ④の六角部、又はアダプタプラグ⑤の平面部、およびボトル⑩の底部に製造年月表示をしています。その日から5年間が耐用年数となります。

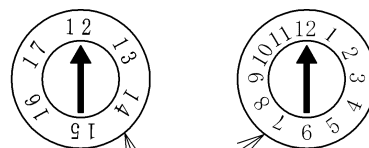
アダプタプラグ④



アダプタプラグ⑤



ボトル⑩



製造月を1～12で表しています。

製造年を西暦下2桁(00～99)で表しています。

製造年月の読み方

例) “1 2 1 2” …… 2 0 1 2 年 1 2 月 製造

(注 意)

- 本器の耐用年数は5年間ですが、使用状況および洗浄・消毒状況などの影響によって部品の劣化度合に差が生じ、場合によっては耐用年数に達する前に交換して頂くことがあります。
- 耐用年数を超えた製品は故障しやすくなります。早急に新しいものと交換してください。

6-1. 日常点検

日常、次の点をチェックしてください。

《使用前の点検》

- (1) アダプタプラグ④にガス別特定ピン⑰の折れ、アダプタプラグ④又は⑤に変形、先端のキズなどの異常はないか。
- (2) ボトル⑩は清潔か。
- (3) キャップ⑨の内側のパッキン⑮がはずれたり、亀裂などが生じたりしていないか。
- (4) 計測筒カバー③は緩んでないか。ガタツキはないか。
- (5) 計測筒カバー③にひび割れあるいはキズが生じていないか。
- (6) ボール②がスムーズに上下し、フラツキがないか。
- (7) 気泡の出具合に片寄りや泡の大小などの異常はないか。
- (8) キャップ⑨、継手部等よりガス漏れはないか。
- (9) 流量調整ノブ⑦を締め切ったとき、泡は止まるか。
- (10) 本体⑥と本体着脱用ねじ⑧は緩んでいないか、ガタツキはないか。

《使用中の点検》

- (1) ボトル⑩内の水位は水位線（上側の線と下側の線）の間にあるか。
- (2) ボトル⑩内の水は清潔か。
- (3) 湿潤器本体の取付状態は正常か。
- (4) 安全弁⑩は鳴っていないか。
- (5) 患者の状態に常に留意してください。

《使用後の点検》

- (1) 5項に従い手入れをしてください。
- (2) すぐに使用しないときは、十分に乾燥させたのち、所定の保管場所にて保管してください。

日常点検で異常が認められた場合は弊社またはお買い上げの代理店へ修理をお申しつけください。

警告

- 点検で異常が発見された機器は絶対に使用しないでください。
重大な人身事故につながる場合があります。
- 改造やご自身での修理は絶対にしないでください。
正常な機能や安全を保てなくなります。

6-2. 定期点検

安定した機能を確保するために定められた期間（3ヶ月および1年毎（※）です）毎に定期点検を実施してください。

定期点検は、弊社またはお買い上げの代理店へお申しつけください。

※「医療ガス保安管理ハンドブック」 編集：財団法人医療機器センター

6-3. 交換部品

点検で異常が認められた場合は、弊社またはお買い上げの代理店へお申し付けください。

No.	名 称	部品番号
1	ボトル	B0203
2	パッキン	64905-10202
3	フィルター	64905-10029

7. 修理を依頼される前に

このようなときは	ここをお確かめください
アウトレットに差し込めない。	◆ アダプタプラグ④のガス特定ピン⑰が変形していないか確認してください。
酸素が流れない。	◆ アウトレットへアダプタプラグ④又は⑤を正しく差し込んでいるか確認してください。 ◆ 流量調整ノブ⑦を「とじる」の方向へ止まるまで回した状態のままとなっていないか確認してください。 ◆ キャップ⑨にボトル⑩がしっかりとねじ込まれているか確認してください。 ◆ 本体⑥と本体着脱用ねじ⑧が確実に取付いているか、確認してください。
パイプ⑭から水が出てくる。	◆ ボトル⑩内の水の量が上側の水位線を越えていないか確認してください。


警 告

- 点検で異常が発見された機器は絶対に使用しないでください。
重大な人身事故につながる場合があります。
- 改造やご自身での修理は絶対にしないでください。
正常な機能や安全を保てなくなります。

8. 仕様

分 類	酸素吸入器	
販 売 名	直結式酸素湿潤器 FS-500型	
外 形 寸 法	高さ271×幅73×奥行132 mm	
質 量 (空 質 量)	約 450 g	
流 量 調 整 範 囲	1~15 L/min	
ボ ト ル 容 積	約 300 mL	
ボ ト ル 水 量	約 200mL (使用時標準水量)	
使用温度範囲	使用中	0~40℃
	保管中	-20~60℃
使 用 圧 力 範 囲	0.34~0.44MPa (最低使用可能圧力: 0.08MPa)	

承認番号 21200BZZ00672000

エアウォータ防災株式会社

AIR WATER SAFETY SERVICE INC.

神戸本社・本社工場	〒651-2271	神戸市西区高塚台3丁目2番地16
(代表)	TEL. 078-992-1400	FAX. 078-993-2076
東京本社	〒141-0031	東京都品川区西五反田2丁目12番3号
(医療代表)	TEL. 03-5435-7921	FAX. 03-5435-7915
(総務受付)	TEL. 03-5435-7920	
大阪支社	〒532-0004	大阪市淀川区西宮原2丁目1番3号
(医療代表)	TEL. 06-6394-9521	FAX. 06-6394-9532
(総務受付)	TEL. 06-6394-9520	
中部支社	〒460-0012	名古屋市中区千代田5丁目5番15号
(代表)	TEL. 052-262-5371	FAX. 052-262-5375
札幌営業所	〒060-0003	札幌市中央区北三条西1丁目2番地 サンワビル4F
(代表)	TEL. 011-210-0710	FAX. 011-251-6621
仙台営業所	〒984-0031	仙台市若林区六丁目字南97番3号
(代表)	TEL. 022-288-5012	FAX. 022-287-3077
広島営業所	〒732-0814	広島市南区段原南1丁目3番53号
(代表)	TEL. 082-264-3565	FAX. 082-264-3568
福岡営業所	〒812-0895	福岡市博多区竹下4丁目7番27号
(代表)	TEL. 092-483-7510	FAX. 092-483-7513